

● 日銀短観、2 四半期ぶりの悪化 不動産業でも中小企業で悪化

日本銀行が 4 月 1 日に発表した 3 月の全国企業短期経済観測調査（短観）によると、企業の現在の景況感を示す業況判断指数（DI）は大企業・製造業でプラス 12（前回の 19 から 7 ポイント低下）、大企業・非製造業でプラス 21（前回の 24 から 3 ポイント低下）となった。悪化は 2 四半期ぶりとなる。米中の貿易摩擦や海外経済の減速が景況感の悪化につながったとみられる。

不動産業についての現況に関する業況判断指数（DI）は、大企業で 39（前回の 35 から 4 ポイント上昇）、中堅企業で 30（前回の 30 と同数）、中小企業で 16（前回の 17 から 1 ポイント低下）と、総じて引き続き良好との判断が多い高い水準を維持しているが、大企業で改善、中堅企業で横ばい、中小企業で小幅な悪化と判断が分かれた。